

コマーシャル ライセンスによる

Microsoft Office ソフトウェアのライセンス

2020 年 4 月

この簡易ガイドは、すべてのマイクロソフト ライセンス プログラムに適用されます。

目次

概要.....	1
詳細.....	2
デバイス単位の Microsoft Office ライセンス.....	2
Microsoft Office へのリモート アクセス.....	2
Windows To Go で使用する Office のライセンス.....	3
コマーシャル ライセンスを通じて提供される Office スイート.....	4
コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ライセンスの取得.....	5
Microsoft Office のダウングレード権.....	5
Microsoft Office のソフトウェア アシユアランス特典.....	6
よく寄せられるご質問 (FAQ).....	7
付録: ソフトウェア製品としての Microsoft Office.....	10

概要

このライセンス簡易ガイドでは、Microsoft Office スイートのボリューム ライセンスに関するよく寄せられるご質問について説明します。

この簡易ガイドでは、デスクトップ アプリケーション ライセンス (通常は、永続的なライセンス) に基づいて取得されたソフトウェア製品である Windows オペレーティング システム版 Microsoft Office の使用権についてのみ説明します。Microsoft Office 365 の一部のサブスクリプション サービスとして取得された Microsoft Office の使用権の詳細については、『[Licensing Microsoft Office 365 ProPlus Subscription Service](#)』ガイドを参照してください。Microsoft Office for Mac のライセンスの詳細については、『[Windows および Microsoft Office を Apple Mac で使用するためのライセンス](#)』ガイドをご参照ください。

詳細

デバイス単位の Microsoft Office ライセンス

Microsoft Office 2019 ソフトウェアは、「デバイス単位」でライセンスされます。ユーザーは、Microsoft Office ライセンスを各物理ハードウェア システム（「ライセンスを取得したデバイス」）に割り当てる必要があります。このライセンスに基づき、ライセンスを取得したデバイス上でソフトウェアの使用が許可されます。

コマーシャル ライセンスのお客様には、物理マシンや仮想マシン上のライセンスを取得したデバイスに任意の数のソフトウェアのコピーをインストールして使用する権利があります。

お客様は Microsoft Office にリモート アクセスできますが、アプリケーションの実行またはアクセスを行う物理デバイスごとに、ライセンスが 1 つずつ必要です。これには、ローカル デバイス上でソフトウェアを実行する場合や、サーバーなど別のデバイスにインストールしたソフトウェアにアクセスする場合などがあります。詳細については、次の「Microsoft Office へのリモート アクセス」を参照してください。

Microsoft Office へのリモート アクセス

Microsoft Office アプリケーションのデバイス ライセンスにはリモート使用権が含まれており、ライセンスを取得したデバイスからソフトウェアへのリモート アクセスが可能です。リモート使用権では、Microsoft Office を単一のデバイスにインストールし、2 つの方法でリモート アクセスできます。

- デスクトップにソフトウェアをインストールする場合、そのデスクトップ デバイスはライセンスを取得してある必要があります。ライセンスを取得したデバイスのプライマリ ユーザー（任意の 90 日間でデバイスの使用時間が 50% を超えているユーザー）は、他の任意のデバイスからライセンスを取得したデバイス上のソフトウェアにリモート アクセスできます。非プライマリ ユーザーでも、アクセス元のデバイスが Office のライセンスを取得済みであれば、リモート先のデバイス上のソフトウェアにアクセスできます。
- お客様が専用サーバーで Office アプリケーションをホストし、エンド ユーザーが個人所有のデバイスからリモート アクセスする方法もあります。このオプションでは、サーバー自体にライセンスを割り当てる必要はありませんが、サーバー上のソフトウェアにリモート アクセスするデバイスごとに Office ライセンスが必要です（後述の「ローミング使用権」セクションの例外をご確認ください）。お客様専用サーバーであれば、サードパーティがサーバーをホストすることもできます。これは「ソフトウェア管理のアウトソーシング」と呼ばれ、サードパーティは認定アウトソーシング企業である必要があります。認定アウトソーシング企業は、対象プロバイダーに指定されないサードパーティです。対象プロバイダーの一覧は <https://aka.ms/ListedProviders> でご確認ください。

注: ソフトウェア管理のアウトソーシングのライセンス条項は、2019 年 10 月 1 日に改定されました。改定前の条項では対象プロバイダーの利用が制限されていないため、この日付よりも前に購入したライセンスに影響はありません。詳しくは、マイクロソフトの製品条項をご覧ください。

Windows To Go で使用する Office のライセンス

Windows To Go の USB ドライブにインストールした Office を使用するには、その仕事用デバイスに次のライセンスを取得します。

- Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシユアランス付き Windows 10 または Windows Virtual Desktop Access サブスクリプション ライセンス、および
- Office Professional Plus 2019 / 2016 または Office Standard 2019 / 2016

結果として、ユーザーは社内のライセンスを取得した仕事用デバイスのすべてで、USB ドライブを使用して Office を実行できます。また、Office スイート ライセンスに有効なソフトウェア アシユアランスがある場合、ライセンスを取得したデバイスのプライマリ ユーザーは、ローミング使用権の特典を利用して、社外のデバイス上で USB ドライブから Office を実行できます。

コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ソフトウェアのライセンス

コマーシャル ライセンスを通じて提供される Office スイート

マイクロソフト コマーシャル ライセンスを通じて、デスクトップ アプリケーション ライセンスのソフトウェア製品として Office Standard 2019 と Office Professional Plus 2019 そして Office for Mac 2019 が提供されます。

		Office Standard 2019	Office Professional Plus 2019	Office for Mac 2019
Applications	Word	●	●	●
	Excel	●	●	●
	PowerPoint	●	●	●
	OneNote	●	●	●
	Outlook	●	●	●
	Publisher	●	●	
	Access		●	
	Skype for Business		●	
Premium Value	Volume Activation	●	●	●
	Group Policy ¹	●	●	
	Use with RDS	●	●	
	App Telemetry	●	●	●
	Update Controls	●	●	●
	Email Retention ²		●	
	Access Site Mailboxes ²		●	
	Access In-Place Archive Folder ^{2,3}		●	●
	Spreadsheet Controls		●	
	Business Intelligence		●	
	Create IRM Email ²		●	●
	Data Loss Prevention ²		●	
	Enterprise Voice ^{2,4}		●	

¹ 企業は、自社ネットワークにログインしたコンピューターに対して、Office の特定の構成設定 (セキュリティ設定、アプリ設定、Active Directory のローミングなど) を適用できます。

² ビジネス生産性サーバーとの統合レベルはスイートによって異なります。

³ Outlook の電子メールをアーカイブします。電子メールの自動アーカイブまたは自動削除を行うための保持ポリシーを設定できます (.pst ファイルは不要)。IT 管理者は、インプレース アーカイブを一元管理できます。

⁴ エンタープライズ VoIP には、委任、チーム通話、グループ通話ピックアップ、および応答グループなど、さまざまな高度な通話機能があります。

⁵ ソフトウェア アシュアランスが必要です。

コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ソフトウェアのライセンス

コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ライセンスの取得

ボリューム ライセンス プログラムでは、デスクトップ アプリケーション ライセンスのソフトウェア製品として、異なるエディションの Microsoft Office が利用できます。このプログラムには、さまざまな種類があります (次の表を参照)。

Volume Licensing program	Office Standard 2019	Office Professional Plus 2019	Office for Mac 2019
Open	●	●	●
Open Value*	●	●	●
Open Value Subscription**	●	●	●
Select Plus	●	●	●
Microsoft Products and Services Agreement (MPSA)	●	●	●
School Enrollment		●	
Enterprise Agreement**		●	
Enterprise Subscription Agreement**		●	

* Office Professional Plus は、Open Value 全社契約のエンタープライズ製品としてライセンスされる必要があります。

**Office Professional Plus はエンタープライズ製品としてライセンスされる必要があります。

Microsoft Office のダウングレード権

最新バージョンの Microsoft Office スイートの使用権を持つお客様が、以前のバージョンのスイートを継続して使用したいという場合があります。デスクトップ アプリケーション ライセンスの Microsoft Office の場合には、これが可能です。これを「ダウングレード権」といいます。お客様は、以前のバージョンの Microsoft Office ソフトウェア製品にダウングレードできます。ただし、ダウングレード先のバージョンはデバイスがライセンスされているソフトウェア製品と同じエディションに限定されます。つまり、Office Standard 2019 から Office Professional Plus 2016 にはダウングレードできません。

次の表に、最新バージョンの Microsoft Office のダウングレード権を示します。

Microsoft Office license	Downgrade rights
Office Standard 2019	Office Standard 2016
Office Professional Plus 2019	Office Professional Plus 2016
Office for Mac 2019	Office for Mac 2016

コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ソフトウェアのライセンス

Microsoft Office のソフトウェア アシユアランス特典

マイクロソフト ソフトウェア アシユアランス特典は、製品および製品群によって異なります。次に、Microsoft Office で利用できる、主なソフトウェア アシユアランス特典について説明します。

アップグレードの権利

ソフトウェア アシユアランスでは、ライセンスを取得したソフトウェアを新しいバージョンにアップグレードできます。アップグレードの権利とは、ソフトウェアを最新バージョンにアップグレードする権利のことであり、ソフトウェア アシユアランスの契約期間中に利用できます。お客様はライセンスを取得した製品に代わり、そのソフトウェアの新しいバージョンを実行できます。たとえば、契約期間中に Microsoft Office の新しいバージョンが利用できるようになった場合、お客様のライセンスは自動的に新しいバージョンにアップグレードされます (Office Standard 2016 から Office Standard 2019、Office Professional Plus 2016 から Office Professional Plus 2019 など)。

ソフトウェア アシユアランスを通じて (非サブスクリプションの) 永続的なライセンスを取得したお客様は、カバレッジ終了後に新バージョンへのアップグレードを展開できます。

ローミング使用权

Microsoft Office ソフトウェア製品に対してソフトウェア アシユアランスを取得している場合に、ローミング使用权を利用できます。ライセンスを取得したデバイスの単一プライマリ ユーザーは、対象のサードパーティ製デバイスからお客様専用サーバー (自社データセンター内など) 上のソフトウェアにリモート アクセスできます。自社または関連会社の敷地内にいない場合は、対象のサードパーティ製デバイスの仮想オペレーティング システム環境 (OSE) でソフトウェアを実行することができます。さらに、Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシユアランスのライセンスも取得しているデバイスでは、USB デバイスから Windows To Go で Office を実行できます。

対象となる第三者デバイスとは、お客様またはお客様の関連会社が直接的にも間接的にも管理しないデバイスです (第三者の運営する公衆キオスク、または従業員の個人所有デバイスなど)。プライマリ ユーザーが、お客様またはお客様の関連会社の敷地内にいる場合、ローミング使用权は利用できません。たとえば、従業員が個人所有のデバイスを社内で使用して、ローミング使用权の特典を行使することはできません。このユーザーが、自宅から個人所有デバイスで Microsoft Office にアクセスすることはできません。

自宅使用プログラム (HUP)

自宅使用プログラムを利用しているお客様の場合、従業員が個人で使用するための Office 365 サブスクリプションを割引価格で購入できます。お客様のライセンスの状態にかかわらず、従業員はこのプログラムを通じて個人のサブスクリプションを無期限に更新できます。

Office for the web および Office Online Server

Microsoft Office Online Server では、インターネット ブラウザーから Office ドキュメントの閲覧のみが可能です。Office ドキュメントを編集するには、コマーシャル ライセンスを通じて取得した Office スイートのライセンスのソフトウェア アシユアランスが必要です。Office ライセンス取得済みデバイスを使用する 1 人のプライマリ ユーザー* が、Office ライセンスのないデバイ

コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ソフトウェアのライセンス

スを含むすべてのデバイスから Office Online Server を使用してドキュメントを編集することができます。外部ユーザー** は Office スイートのライセンスがなくても、インターネット ブラウザーで Office ドキュメントの閲覧と編集が可能です。また、有効なソフトウェア アシユアランスを持つ Office ライセンス取得済みデバイスのプライマリ ユーザーは、Office Online*** サービスにアクセスして、Office ドキュメントの閲覧と編集を行うことができます。

* プライマリ ユーザーとは、ライセンス取得済みデバイスの使用頻度が 90 日間のうち 50% を超えているユーザーです。

** 外部ユーザーとは、お客様の組織やその関連会社で働く従業員でも、オンサイトの契約社員やエージェントでもないユーザーです。

*** ユーザーが Office for the web サービスにアクセスするためには、SharePoint Online または OneDrive for Business プランのライセンスを取得する必要があります。

よく寄せられるご質問 (FAQ)

1. Microsoft PowerPoint だけを使用するマーケティング部門の従業員と、PowerPoint は使用しない経理の従業員が Microsoft Office スイートを共有できますか？

Office Standard と Office Professional Plus は、複数のソフトウェア製品から構成される Microsoft Office スイートですが、単一ライセンスで提供されます。このソフトウェアを複数台のコンピューターで分けて使用することはできません。1 つの Microsoft Office アプリケーションしか必要としない場合、Microsoft Office の個別のアプリケーションのライセンスもスタンドアロンで、Open、MPSA および Select のプログラムで購入できます。

2. Office Standard 2019 と Office Professional Plus 2019 を混在させて展開しています。ユーザーがサーバー上の Microsoft Office にリモート アクセスする場合、どのような Microsoft Office ライセンスが必要ですか？

サーバーにアクセスするすべてのデバイスに、サーバーにインストールされている Microsoft Office スイートと同じライセンスを取得する必要があります。組織でこれを実現するには、1) 単一の Microsoft Office エディションを全社規模で展開する、または 2) 別々のサーバーに Microsoft Office の各エディションを保持します。

3. Office Professional Plus 2019 のドイツ語版と英語版を混在させて展開しています。この場合、どのような Microsoft Office ライセンスが必要ですか？

Microsoft Office 2019 のライセンスには、Multi-Language Pack と多言語の校正ツールが含まれます。すべての Office 2019 スイートとアプリケーションのソフトウェア (Excel など) では、言語を変更したり、複数の言語を使用したりすることができます。Office 2019 には、Office Multi-Language Pack が含まれています。ソフトウェア アシユアランスの対象となっている以前のバージョンをご利用のお客様には、ソフトウェア アシユアランスの一環として引き続きこの権利が付与されます。

4. 個人所有のノート PC を会社の会議で使いたいのですが、会社のサーバーに展開されている Microsoft Office に、リモート デスクトップ サービスを使用してリモート アクセスできますか？

企業は、リモート アクセス先の自社専用サーバーの Office と同じバージョンおよびエディションの Office のデバイスライセンスを、個人所有のノート PC に割り当てる必要があります。この場合、オンプレミスで個人所有のデバイスを使用しているため、Office ローミング使用権は適用されません。Office ローミング使用権を行使できるのは、社外で使

コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ソフトウェアのライセンス

用されるサードパーティの対象デスクトップのみです。たとえば、自宅のデバイスや空港のキオスク デバイスなどが挙げられます。

5. 編集をするために Office Online Server にアクセスするためのライセンス取得方法を教えてください。

ソフトウェア アシユアランスが付属した Office スイート ライセンスを利用すると、ライセンスが付与されたデバイスから Office Online Server を使用して Office ファイルを編集できます。Office 365 ProPlus のライセンスを持つユーザーも、Office Online Server を使用して Office ファイルを編集できます。

6. Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 のライセンスを取得済みの場合、Office Web Apps はデバイス単位とユーザー単位のどちらでライセンスされますか？

Office クライアント スイートはデバイス単位でライセンスされます。この Office ソフトウェアのライセンスを取得したデバイスのプライマリ ユーザーには、任意のデバイスからオンライン コンパニオン Office Web Apps にアクセスするライセンスが許諾されます。これにより、プライマリ ユーザーは、Office Online Server 経由でリモートからオンライン アクセスできます。

7. ライセンスを取得した従業員と共同作業をされる外部ユーザーには、どのようなライセンスが必要ですか？

Office Web Apps ドキュメントにアクセスして参照または編集を行う外部ユーザーに、新しい Office スイートのライセンスは必要ありません。外部ユーザーとは、お客様またはお客様の関連会社で働く従業員でもなく、オンサイトの契約社員やエージェントでもないユーザーです。

8. Office Online ドキュメントを参照するだけですが、Office Professional Plus 2019 や Office Standard 2019、または Office for Mac 2019 のライセンスが必要ですか？

いいえ、必要ありません。ソフトウェア アシユアランスが付属した Office スイート ライセンスが必要なのは、Office Online Server ドキュメントを編集する場合のみです。

9. Office ライセンスの一部としてライセンスされる Office Online Server には、何が含まれていますか？

Office Online Server はブラウザベースの Word, Power Point, Excel と OneNote をオンプレミス環境から提供します。Office Online Server にはバージョンがなく、定期的なソフトウェア アップデートによって Office Online サービスのほとんどの機能が提供されます。

10. Windows To Go の権利を利用して、Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 を USB ドライブにインストールできますか？

はい、できます。Office Professional Plus 2019 または Office Standard 2019 を USB ドライブにインストールして、ライセンスを取得した任意のワーク デバイス上で Office を使用できます。これらの権利は、USB ドライブにインストールした Office を社内で使用する場合のみに適用されます。プライマリ ユーザーがソフトウェア アシユアランスでデバイスのライセンスを取得している場合、社外から個人所有のデバイスで Windows to Go を通じて Office を使用することもできます。Windows To Go の権利を行使するには、Windows の有効なソフトウェア アシユアランスを保有している必要があります。

11. 会社の専用ネットワーク サーバー上でホストする仮想マシンに Office Professional Plus 2019 を展開して、1 人または複数のエンド ユーザーがリモート アクセスを行えるようにしています。仮想マシンにソフトウェアがインストールされている場合、単一のデバイス ライセンスを仮想マシンに割り当てれば、任意のユーザーがアクセスできるようになりますか？

いいえ。サーバー上の Office ソフトウェアにアクセスするデバイスごとに、ライセンスを取得する必要があります。

コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ソフトウェアのライセンス

付録: ソフトウェア製品としての Microsoft Office

Office はソフトウェア製品としてライセンスすることも、サブスクリプション サービスとしてライセンスすることもできます。次の表に、2 つの提供形態の主な違いを示します。

	ソフトウェア製品としての Microsoft Office	サブスクリプション サービスとしての Microsoft Office
ライセンス モデル	<ul style="list-style-type: none">デバイス単位	<ul style="list-style-type: none">ユーザー単位。(同時に最大 5 つの OSE でソフトウェア ライセンス認証を行えます)
製品エディション	<ul style="list-style-type: none">Office Standard、Office Professional Plus	<ul style="list-style-type: none">Office365 ProPlus、Office 365 Business*
ダウングレード	<ul style="list-style-type: none">ユーザーは、デバイスがライセンスされているのと同じ Microsoft Office エディションの以前のバージョンにダウングレードできます。	<ul style="list-style-type: none">ダウングレード権は適用されません。
リモート使用	<ul style="list-style-type: none">ソフトウェア アシユアランスのローミング使用权仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI)や、リモート デスクトップ サービス (RDS) などによる リモート使用権が許諾されています。USB デバイスからの Office のインストールと使用**	<ul style="list-style-type: none">ソフトウェアの 1 ライセンスで最大 5 台のデバイスにインストールでき、それらのデバイス上でどこでも Microsoft Office をローカルに使用できます。仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) や、共有コンピューターのライセンス認証が有効になっているリモート デスクトップ サービスなどによるリモート使用権が許諾されています。USB デバイスからの Office のインストールと使用**
自宅使用	<ul style="list-style-type: none">Work At Home (WAH) ライセンスソフトウェア アシユアランスの自宅使用プログラム (HUP)ソフトウェア アシユアランスのローミング使用权USB デバイスからの Office のインストールと使用**	<ul style="list-style-type: none">ユーザーは 1 つまたは複数のコピーを自宅のデバイスに、ユーザー単位のライセンスを最大 5 台のデバイスまでインストールできます。USB デバイスからの Office のインストールと使用**
Multi-Language Pack	<ul style="list-style-type: none">Multi-Language Pack は Office 2019 のライセンスに含まれています。Multi-Language Pack 2013 のライセンスは、Open または Select のボリューム ライセンス プログラムでライセンスを取得できます。	<ul style="list-style-type: none">Multi-Language Pack は、含まれています。

* Office 365 Business は、Open, Open Value および Open Value Subscription プログラムにて利用可能です。2016 年 7 月 1 日より、マイクロソフト製品 / サービス契約 (MP SA) が提供されている市場では、一般企業のお客様は、次の契約応当日から既存の Select Plus 契約を通じて新規購入を行うことや、ソフトウェア アシユアランスを更新することができなくなります。今回の販売終了は、公共機関および教育機関のお客様向けの Select Plus 契約には適用されません。詳細は、こちらをご覧ください。<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/select>

**Windows To Go が必要です。Windows To Go は、Windows デスクトップ オペレーティング システム用のソフトウェア アシユアランスまたは Windows Virtual Desktop Access (VDA) サブスクリプションの特典としてご利用いただけます。

コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ソフトウェアのライセンス

©2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.

本資料に記載された内容は情報提供のみを目的としており、明示または黙示に関わらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負いません。これは、ライセンスを取得した製品の許可された使用について説明したものであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づいてライセンス許諾された製品の使用は、契約の条項および条件に従う必要があります。この情報と契約の内容に矛盾がある場合は、契約の条項と条件が優先されます。マイクロソフト代理店を通じて取得されるライセンス価格はマイクロソフト代理店によって決められるものです。